

## Information (1)

**6月15日(水) 18:00~20:00 「2005年の6.15集会」** 場所:豊島区立勤労福祉会館第7会議室 国会へ:集会終了後、国会南門において樺美智子さんに献花。主催:声なき声の会

**6月17日(金) 18:30~『日の丸・君が代』強制の今を問う** 場所:かながわ県民センター305号室(JRほか横浜駅西口下車) 主催:「日の丸・君が代」の法制化と強請に反対する神奈川の会(電話:090-3909-9657)

**6月18日(土) 18:00~「日韓条約から40年 東北アジアの平和と“歴史認識”を問う6・18集会」** \*集会後デモ 場所:東京・豊島区民センター(池袋駅から5分) お話:

韓国ピョンテク市米軍基地反対住民(予定)、高嶋伸欣(琉球大) 主催:朝鮮侵略100年、朝鮮解放・分断60年、日韓条約から40年を問う2005年運動(連絡先:日韓民衆連帯全国ネットワーク、電話:03-5684-0194)

**6月19日(土) 13:30~6月19日(日) 13:30~「横田基地の米軍・自衛隊共同利用に反対し、横田からのイラク派兵即時中止を求める6・19横田基地行動」** 集会後デモ 場所:福生市松林会館(JR八高線東福生駅下車徒歩3分、福生駅下車徒歩10分) 講師:島川雅史(立教女学院短大教員)、塚本秀夫(横田基地飛行差し止め訴訟団)ほか 主催:同行動実行委(連絡先:立川自衛隊監視テント村 電話:042-525-9036、うちなんちゅの怒りとともに!三多摩市民の会 電話:042-592-3806)

**6月25日(土) 13:30~「第20次自衛隊ゴランPKO派兵反対!三多摩集会・デモ」** 場所:小平市学園西町地域センター(西武多摩湖線一橋学園駅北口下車、西に徒歩5分) 講師:田原牧(同志社大学一神教学際研究センター一研究員、東京新聞特報部記者)、資料代:500円 主催:ゴランPKO派兵に反対する三多摩行動(連絡先:090-1749-9305、042-348-1127 橋本久雄)

(33ページにつづく)

ぼくの叔父(母の弟)は、現役入隊らしい、五回も召集を受け戦地を往復してきては、ぼくに自慢話をしてきたが、南京陥落のあととも帰国して話してくれた。

「捕まえた兵や農民はじゅずつなぎにして刑場に連れてくる。その一人ひとりを引き出して首を切るのだが、大学出の幹部候補生の少尉殿はみなダメなんだよ。相手は手を合わせて命乞いしているのです、その顔を見ただけでひるんじゃうんだ。だから彼らはお殿様の切腹の介添え人のように、後ろに立って刀を構えるんだ。ここで、もう負けているのだよ。首を切るなら前に立って、そいつの顔をじつと見て切らなくてはだめなんだ。俺は一兵卒からの成り上がりの曹長だが、部隊の中でもさちんと首と胴体を切り離せるというので自

慢だった。少尉さんたちは、うしろから何回も切り下ろし、血だらけになって苦しんでいる相手の首を離せないで、最後は俺に頼んでくる。俺は『エイッ』と刀で首を離してやる。面白いんだよ。首は胴体から離れてころろってころろがっていくが、それでも目だけはパチパチしている。気味が悪くなったが竹越嘉二郎曹長の名は松井(石根)軍司令官の耳にも達しているといつて、俺は部隊から三回も褒美をもらったんだ」

### 【表紙の切り絵:「南京の碑」によせて】 竹越嘉二郎曹長「武勇伝」

金子徳好

叔父、竹越嘉二郎は、戦後も我が家で大工職人として暮らしていたが、故郷の能登に帰ってからも刀をふりまわして周りを心配させていて、最後は狂ったようになって死んだ。

ぼくは五年前、旅行で北京、西安、上海を回ったが、南京では「三十万人虐殺記念館」に立ち寄った。当時の南京は人口五十万程度だったので、果して虐殺が三十万人もあつたかどうか、諸説があるが、虐殺を自慢している叔父のような人間がいることは確かである。

記念館では、三十万人の人びとをすべて調査してあると説明していた。ぼくは南京と聞くとき、一番乗り山際少尉と竹越嘉二郎を思い出す。

(かねこ・とくよし、切り絵の作者の金子静枝さんとはご夫妻)